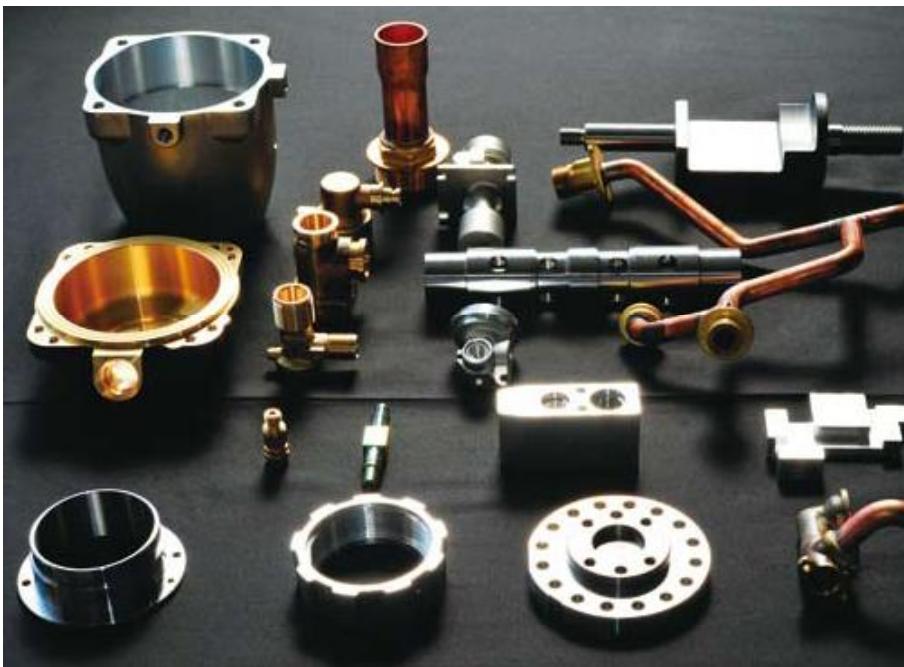


株式会社三共製作所

さまざまな金属の切削に挑戦し 高難度な加工を実現

納期相談
企画力自信有
コスト相談
試作可小口対応
量産対応



幅広いニーズに対応可能な各種部品

業務内容 オールラウンドメーカー

昭和4年創業の三共製作所は、日本で最も古い給湯器の部品会社だ。

「時代の流れに合わせて仕事の幅を広げてきました」と松本社長が話す通り、現在では住宅関連部品を始め家電、自動車、航空機部品等、取引先は100社以上と広いマーケットを持つ。しかも、真鍮・アルミからSUS・モリブデンと、あらゆる金属の切削が可能だ。

加工は金属の性質によって保持治具や刃具・切削条件を変える必要があるが、長年の経験を持つ職人の技と対応できるシステムが備わっている。

強み 24時間フル稼働で短納期・ コストダウンを実現

月間50万個という量産から小ロットや試作品も受ける同社の工場は、365日24時間体制で稼働している。ここで働く人の6割は外国人で、出身はアジアを中心に9か国にも及ぶ。松本社長が他社の海外拠点の立ち上げにも尽力するほど海外に広いネットワークを持っているため、當時、安定した働き手を確保できるのだ。

さらに加工から組立まで一貫生産、完全無人化の機械を導入する等、徹底したコスト削減も実施。「安ければいい」というわけではありません」と話す通り、職人の技だけでなく、無人装置での全数検品を実施する等、厳しい管理体制を敷き、より高いクオリティを追求している。

技術開発 製造ラインを設計

業界を問わず友人・知人は4000人以上という松本社長は、「研究者」としての顔も持ち、技術的な提案や設計、コーディネートもこなしている。同社が手掛けた案件は、平成17年に経済産業省の中小企業・ベンチャー挑戦支援事業に採択された「蒸留用高性能毛細管型線状規則充填物SCL-P ACKING」の研究開発等、数多くある。中には極秘プロジェクトも含まれているとか。「今も大学との共同研究等、5つの案件に参画しています。案件ごとにチームを組んでいますが、基本はすべてものづくりですよ」と松本社長は語る。

大量に物をつくるだけでなく、必要とされるものを技術と製品で提供する。それが80年以上続いてきた同社の姿勢であり、強みでもある。



今後の展望 国内でも海外でもニーズに応える会社でありたい

海外に強いネットワークを持つ松本社長だが、決して外にはかり目を向けているわけではない。「国内の空洞化は深刻ですが、切削技術はこれからも必要」と語る。今後は海外ではできない高い精度の提供や特殊な材料の加工等のニーズに応えてきたいと考えている。

COMPANY PROFILE

株式会社三共製作所



昭和4年に給湯機器の部品メーカーとして創業しました。その後、油圧機械器具の製造、組立加工、装置の自社開発等、80年以上、業種にこだわることなく時代が求める製品を提供してきました。そうして培ってきた技術のおかげで、現在は幅広いジャンルとのお取引があります。どれだけ時代が変化しても、フレキシブルに対応できるのが当社の強みです。

「できないことはない」というチャレンジ精神を持つことが、新たな道を開きます。

代表取締役社長 松本 輝雅さん



■主な事業内容

自動車部品・住宅関連部品・
家電部品・防災機器部品等の切削を始めとする加工・製造・販売、検査装置開発等

■主な取引先(納入先)

住宅関連設備機器メーカー、防災関連機器メーカー、給湯器関連メーカー等

住 所 / 〒578-0972

東大阪市鴻池町
2-6-37

T E L / 06-6744-5031

F A X / 06-6745-5705

創 業 / 昭和4年5月

設 立 / 昭和30年12月

資 本 金 / 1,000万円

従 業 員 / 102名

<http://www.sankyo-mfg.co.jp/>